

【「山寺が支えた紅花文化」構成文化財一覧】

①紅花畑の景観—未指定（景観）

＜山形市、天童市、中山町、河北町、白鷹町＞



紅花栽培は当地の気候風土と合い、江戸時代初期には全国生産の大半を占めた。西陣織や化粧用に加工される貴重な赤い染料。紅花は当地を経済面でも文化面でも大きく発展させた。

②山寺—国名勝史跡

＜山形市＞



紅花栽培の始まりとその発展に深いかわりのある寺。比叡山との縁故から近江商人を惹きつけて、紅花交易の発展を加速させた。慈覚大師円仁が開基。

③立石寺中堂—国重文（建造物）

＜山形市＞



紅花交易を地元の商人とともに発展させた近江商人を惹きつけた「不滅の法灯」が伝えられる山寺の本堂。比叡山延暦寺から分灯された。

④若松寺観音堂—国重文（建造物）

＜天童市＞



山寺を開基した慈覚大師円仁を中興の祖とする天台宗の寺、若松寺の観音堂。若松寺は慈覚大師が大規模な造営工事を行い伽藍配置がなされた。。

⑤最上川—未指定（景観）

＜寒河江市、天童市、尾花沢市、中山町、河北町、大石田町、白鷹町＞



最上川の氾濫原と朝霧や朝露がたちやすい気象条件が紅花栽培の適地となった。沿岸の集落が紅花の主要な産地であり、紅花は最上川を下って上方に運ばれた。

⑥紅餅の製作技術—未指定（無形）

＜山形市、天童市、中山町、河北町、白鷹町＞



紅花に含まれる赤い色素はわずか1%。収穫後によく洗って黄色素を取り除き、干して丸めて乾燥させた紅餅の状態出荷した。当地産の紅餅は品質の良い高級品で「最上紅花」と呼ばれその交易が当地に経済的発展をもたらした。

⑦深山和紙一県指定（無形）

＜白鷹町＞



高価な商品作物であった紅花（紅餅）は、厚紙などで作った「花袋」に入れられ、さらにゴザなどで包み出荷された。往時、白鷹町深山地区で作られた和紙は地元産の紅花の花袋として使用された。その製作技術は今も当地に引き継がれている。

⑩紅花屏風一県指定（絵画）

＜山形市＞



江戸時代、紅花栽培が盛んに行われていた当地の様子を伝えるもの。紅花の栽培から収穫、紅餅に加工する作業や上方へ運び取引の様子が分かる。

⑧大石田河岸絵図 一 町指定（歴史資料）

＜大石田町＞



江戸時代、紅花交易などで最上川舟運最大の河岸として賑わった様子を伝えるもの。護岸築堤がなされ、多くの物資が往来できるように最上川の流りに沿って東西に貫いて大通りが設けられ、整備された町並みの様子がわかる。

⑪花笠まつり 一未指定（無形民俗）

＜山形市、天童市、尾花沢市＞



花笠まつりで用いる花笠は、紅餅を 筵 に掛けて干す様子を表している。踊り手が花笠を手に列を作って練り歩く様は一面の紅花畑が広がる光景を再現している。

⑨大石田河岸の景観 一未指定（景観）

＜大石田町＞



紅花は川の難所を避けて生産地から大石田までは陸送され、大石田河岸から舟積みされて上方へと送られた。最上川から店棚を通して表通りまで通じる路地「ろうず」が残る家屋などから往時の河岸の様子をうかがい知ることができる。

⑫紅花まつり 一未指定（無形民俗）

＜山形市、天童市、中山町、河北町、白鷹町＞



江戸時代に当地で盛んに行われていた紅花の収穫、紅餅づくり、紅花染めを体験できる。初夏のまつり。

- ⑬紅花染め衣装(亀綾織絹地鶴亀二松竹梅福寿模様藍二墨ト紅曙染女中裁祝着)一町指定(有形民俗) <河北町>



紅花は上方に運ばれたのちに西陣織などの染料となった。産地の荷主が上方から買い求めた紅花染め衣装が当地には数多く残る。

- ⑭紅花染め衣装(楊柳上布地籬二春花模様藍墨ト紅ノ曙染単大振袖)一町指定(有形民俗) <河北町>



紅花は上方に運ばれたのちに西陣織などの染料となった。産地の荷主が上方から買い求めた紅花染め衣装が当地には数多く残る。

- ⑮紅花染め衣装(元禄紅花染小袖)一町指定(工芸品) <山辺町>



紅花は上方に運ばれたのちに西陣織などの染料となった。産地の荷主が上方から買い求めた紅花染め衣装が当地には数多く残る。

- ⑯紅花染め衣装(縮緬紅花染振袖A)一町指定(工芸品) <山辺町>



紅花は上方に運ばれたのちに西陣織などの染料となった。産地の荷主が上方から買い求めた紅花染め衣装が当地には数多く残る。

- ⑰紅花染め衣装(縮緬紅花染振袖B)一町指定(工芸品) <山辺町>



紅花は上方に運ばれたのちに西陣織などの染料となった。産地の荷主が上方から買い求めた紅花染め衣装が当地には数多く残る。

- ⑱芭蕉の句碑一未指定(史跡) <天童市>



江戸時代に山寺参詣の途中、紅花畑を目にした芭蕉が紅花を題材に句を詠んだ。そのことを示す句碑が残る。

⑱紅の蔵及び収蔵資料（旧長谷川家）
—未指定（建造物／美工品）〈山形市〉



江戸時代、紅花商人（豪商）として活躍した長谷川家の屋敷。通りに面し、門を構え、店蔵、座敷蔵が残る。

⑳芭蕉、清風歴史資料館（旧丸屋鈴木家住宅）
—未指定（建造物） 〈尾花沢市〉



江戸時代、紅花商人（豪商）として活躍した鈴木清風を紹介する史料館として活用されている。俳人でもあった清風は松尾芭蕉に山寺参詣を勧め、その道中、芭蕉は紅花畑や山寺で名句を残した。

㉑紅花資料館及び収蔵資料（旧堀米家）
—町指定（建物）
〈河北町〉



江戸時代、紅花商人（豪農）として活躍した堀米家の屋敷。立派な門を構え、堀と塀を設けて敷地を囲む。座敷蔵、御朱印蔵、母屋、武者蔵、雛人形、紅花染め衣装などが残る。

㉒旧安部家住宅と屋敷及び収蔵資料
—町指定（建造物） 〈河北町〉



江戸時代、紅花商人（豪農）として活躍した安部家の屋敷。黒塀に囲まれ、蔵や調度品などが残る。

㉓旧柏倉家住宅及び収蔵資料
—県指定（建造物） 〈中山町〉



江戸時代、紅花商人（豪農）として活躍した柏倉家の屋敷。立派な門を構え、黒塀で敷地を囲む。座敷蔵には上方由来の雛人形を始め、数多くの調度品が残る。

㉔ふるさと資料館及び収蔵資料（旧佐藤家）
—未指定（建造物／美工品）
〈山辺町〉



江戸時代、紅花商人（豪農）として活躍した佐藤家の屋敷。雛人形や紅花染め衣装が残る。

②⑤次郎左衛門置上げ立雛
一町指定（工芸品） <河北町>



紅花で栄えた商家が上方から買い求めた華やかな雛人形が当地には数多く残る。

②⑧からくり人形一町指定（工芸品）
<河北町>



紅花で栄えた商家が上方から買い求めた華やかな雛人形が当地には数多く残る。

②⑥享保内裏雛一町指定（工芸品）
<河北町>



紅花で栄えた商家が上方から買い求めた華やかな雛人形が当地には数多く残る。

②⑨紅花商人⑩長谷川家の上方由来コレクション
<山形市>

江戸時代、紅花商人（豪商）として活躍した⑩長谷川家が贅を尽くして収集した上方由来の文物。現在、山形美術館で公開され、往時の紅花交易の隆盛を今に伝える貴重なコレクションである。

②⑦御所人形一町指定（工芸品）
<河北町>



紅花で栄えた商家が上方から買い求めた華やかな雛人形が当地には数多く残る。

②⑨（例1）紙本著色紅花図 横山華山筆
六曲屏風一県指定（絵画）<山形市>



江戸時代の紅花の栽培から収穫、紅餅に加工する作業や上方へ運び出す様子が分かるもの。精緻な描写が往時の紅花生産の賑わいを今に伝える。

②⑨ (例2) 紙本淡彩奥の細道図 与謝蕪村
筆 六曲屏風一國重文 (絵画) <山形市>



奥の細道の全文が墨書され、「山刀伐峠越え(尾花沢市)」などの9場面を巧みに配している。文中には尾花沢の紅花商人鈴木清風宅に寄り、山寺参詣を勧められたことや、山寺で詠んだ句などが記されている。

②⑨ (例3) 出羽三山巡礼句一県指定 (書跡)
<山形市>



松尾芭蕉は奥の細道の道中、山寺から北上して大石田の河岸より最上川舟運で出羽三山に向かった。その感動を3つの句に詠んだもの。

③⑩ ひな市 (ひなまつり)
一未指定 (無形民俗)
<山形市、寒河江市、天童市、尾花沢市、山辺町、中山町、河北町、大石田町>



紅花交易の帰り荷として当地に残る雛人形は、毎年2～4月に各地で開催されるひな市にあわせて公開される。自宅や蔵などを開放して雛人形を公開する。ひな市は当地の春の風物詩。露店が立ち賑わう。

③⑪ 林家舞楽一國無形民俗
<河北町>



山寺立石寺建立とともに上方より伝えられた舞楽。谷地八幡宮神職林家が一子相伝で1,100余年伝えるもの。紅花染めの衣装が用いられる。

③⑫ 尾花沢雅楽一市指定 (無形)
<尾花沢市>



紅花交易が盛んだったころ、最上川舟運により運ばれた宮廷の風雅な調べを今に伝える。

③⑬ 尾花沢まつり囃子一市指定(無形)
<尾花沢市>



紅花交易が盛んだったころ、最上川舟運により運ばれた宮廷の流れを組む組曲を今に伝える。

③④谷地八幡宮一未指定（建造物）

<河北町>



毎年9月、林家舞楽が奉納される。上方由来の舞楽を紅花染め衣装を身にまとった楽人が舞う。

③⑤慈恩寺旧境内一国史跡

<寒河江市>



毎年5月、林家舞楽が奉納される。上方由来の舞楽を紅花染め衣装を身にまとった楽人が舞う。

③⑥木造弥勒菩薩及び諸尊像 附 弥勒菩薩像像内納入品一国重文（彫刻）

<寒河江市>



唇に紅をさす化粧を施された本山慈恩寺の秘仏。かつて寒河江市は紅花の主産地のひとつであり、紅花を売り買いた「花買場」という地名が市内に残る。

③⑦本山慈恩寺本堂一国重文（建造物）

<寒河江市>



唇に紅をさす化粧を施された秘仏が伝わる本堂。

③⑧芋煮一未指定（一）

<山形市、寒河江市、天童市、尾花沢市、山辺町、中山町、河北町、大石田町、白鷹町>



江戸時代、紅花を運んだ最上川の船頭が、地元の里芋と帰り荷の棒鱈を川原で煮て食べたことが発祥と伝わる当地の郷土料理。川原で食す「芋煮会」は当地の秋の風物詩。

③⑨おみづけ（近江漬け）一未指定（一）

<山形市、寒河江市、天童市、尾花沢市、山辺町、中山町、河北町、大石田町、白鷹町>



近江商人由来の漬物。家庭料理として親しまれている。江戸時代、当地に移り住んだ近江商人は堰に流れる青菜等の野菜くずも無駄にせず漬物にして食した。

